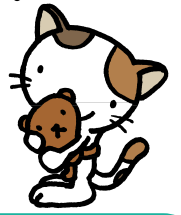


猫の感染症とワクチン(室内飼いのススメ)

- *猫が感染する病気は、軽度ですむものから、命に関わるものまでさまざまあります。
- *特に外に行く猫では、感染する危険性が高くなります。
- *健康に生活するために、室内飼い・ワクチン接種をお勧めしています。



猫カリシウイルス感染症

カリシウイルスによる感染症で、クシャミ、鼻水、発熱などの症状が見られます。進行すると、舌や口の周辺に潰瘍ができることもあります。

猫汎白血球減少症

パルボウイルスによる感染症で、血液中の白血球が著しく減少し、高熱、嘔吐、下痢、食欲不振などの症状がみられます。脱水症状が続き衰弱が進むと、成猫でも死んでしまうというおそろしい病気です。

猫ウイルス性鼻気管炎

ヘルペスウイルスによる感染症で、いわゆる「猫カゼ」とよばれるものです。発熱、ひどいクシャミやセキ、鼻水や目やにが出ます。特に子猫に多く、重症になると死亡してしまうケースもあります。

猫のクラミジア病

結膜炎、クシャミ、セキがみられ、肺炎をおこすこともあります。

ワクチンで 予防できる 感染症

猫白血病ウイルス感染症

持続感染し、発病してしまうと根本的な治療がないため、高い確率で死亡してしまいます。白血病やリンパ腫などの血液のガンや、貧血、免疫不全などを引き起こします。感染力が強いため、毛づくろいや、同じ食器、トイレを使用することで感染してしまいます。

猫免疫不全ウイルス感染症(猫エイズ)

外に行く猫に多く、ケンカなどによって伝染する病気です。感染してから発病するまで、数年以上無症状のことが多いですが、免疫不全状態が進行すれば、口内炎などの慢性疾患や、貧血などさまざまな経過をたどり、死亡してしまいます。

*現在、ワクチンで予防できるのは、これら、6つの感染症です。

猫伝染性腹膜炎

コロナウイルスによる感染症で、発病すると、お腹や胸に水がたまったり、臓器不全を引き起こし、高い確率で死亡してしまう病気です。

ワクチンで 予防できない 感染症

ヘモバルトネラ症

発生はまれですが、感染してしまうと、重度の貧血を引き起こします。



*この他にも、ワクチンで予防できない感染症があります。

- *猫白血病ウイルス感染症、猫免疫不全ウイルス感染症は、特に外に行く猫でよくみられる感染症です。
- *すでに感染している場合でも、お薬を飲むことで、発症をある程度遅らせることができる場合もあります。また、他の猫への感染源になるため、注意が必要です。
- *これらに感染しているかは、血液検査で調べることができますので、ご希望の際はご相談ください。